

榊原地区の暮らしを支える見守り会議に参加してきました



↑生活支援コーディネーター

### 暮らしを支える見守り会議とは？

平成10年に地区社協が設立され、当初から住民主体の見守りネットワークを目標にしてきました。その背景には、地域内で孤独死が起きていたことや全世帯を対象にした住民アンケートの結果、見守りを希望する声が多かったことがあります。そこから自治会にも協力依頼をして見守りチームを結成しました。日々の生活の中で見守り活動をしている見守りチーム員と民生委員の情報共有の場、また住民専門職の情報共有や、協議の場として年に2回程度開催しています。

### 会議ではどんなことをしているのかな？

見守りを希望している方や地域で気になることを地図に記しています。最近では空き家や津市コミュニティバスの路線、買い物についても話題にあがっています。



←地区社協事務局 木佐貫さん

生活支援  
コーディネーター通信  
※生活支援コーディネーターは地域のみなさんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

Vol.22 令和4年 1月20日

## 榊原地区社会福祉協議会 暮らしを支える見守り会議

初めは見守り委員の活動に対して理解を得られない方もいます。しかし、地域には活動に対して理解を示し応援してくれる方もみえ、その方々が活動の必要性を伝えながら、理解者を増やしています。地域全体が生活の中で見守り意識を高めており、活動の灯が消えないように願います。



↑地区社協 山川会長

民生委員だけでは限界がありますが、日頃の生活の中で見守りチーム員さんが気にかけてくださるので、重層的な見守りができています。



↑大原民生委員

地区社協 萩野副会長↓



個人情報・プライバシーの問題もあり、情報共有の仕方を今後も考えていきたいです。



↑自分の区の地図を見ながら見守り委員さんと民生委員さん、自治会長さんで情報共有



↑対象者は色分けしたシールを貼ったり、気になる箇所には付箋に記入したりして情報を整理



↑見守り台帳と地図を照らし合わせながら、状況を確認中

榊原地区で始まった見守りネットワークが久居地域内で波及しています。榊原地区の先進事例を参考に各地区の実情にあったカタチで見守りを進めていきたいです。また、会議では各区で話しあったことを最後に発表する時間もあり、いろいろな声を聴くことで、暮らしの中での困り事を聞き、その解決策をみんなで考える場にもなっています。



↑生活支援コーディネーター